

令和7年度 第3回
北栄町社会教育委員会・公民館運営審議会 会議録

開催期日	令和8年3月19日(木)				
開催場所	北栄町大栄農村環境改善センター 2階 大会議室				
開会時刻	午後1時30分				
出席委員(10人中9人)	西村 信彦	萬 章夫	大橋 絵里	安田 千秋	大口 吉雄
	別本 勝美	三村 章雄	清水 武	玉木 純一	
欠席委員(1人)	岡本 栄里子				
事務局出席者	笠見教育長	渡辺課長	福庭室長	川本室長	松尾館長
	福田主幹	吉田館長	大栄分館 永田	荒川事務局長	荒木推進員
	菱井推進員	池口			
1 開会	事務局 渡辺課長の司会進行で開会。				
2 あいさつ	◆三村委員長によるあいさつ				
3 定足数の確認	委員10名中9人が出席。半数の出席者があることを確認し、北栄町中央公民館条例施行規則第4条により会議が成立することを報告。				
4 議事録署名委員	北栄町中央公民館条例施行規則第6条により委員長及び委員長の指名の委員が署名となっているため、委員長が指名。指名委員は、大口伸雄委員が議事録署名委員となる。				
5 報告事項	(1)令和7年度の事業報告について				
福庭室長	◆文化・スポーツ推進室事業について ○北栄文化回廊事業 昨年度より人数が減っているが、中央公民館、農村環境改善センターなどにポスターを作って貼ったこともあり、お茶席・ものづくり体験では参加者が増えた。 ○青少年劇場巡回公演委託事業 今年度は町内4校で実施。大栄中学校では文化庁主催の公演を実施することができた。 ○文化財保護対策事業 令和8年1月に国坂の齋尾家住宅が国の重要文化財に指定された。今後の保存や活用方法などを考えていく必要がある。 ○歴史民俗資料館事業 昨年度の入館者より1,000人近く来館者が増えている。特に「山本隆博 絵画展」の影響が大きい。 ○すいか・ながいも健康マラソン事業 町制20周年を記念して、ゲストランナーの岡本さんを迎えて開催することができた。今年も4,000人強の人数が参加したが、大きな事故もなく実施することができた。				
川本室長	◆人権教育推進室事業について ○人権啓発活動事業 人権フェスティバル2025のテーマは災害と人権で、参加者が224名で昨年より約60名ほど増えた。 ○児童館運営事業 ほくほく食堂は昨年までは年3回だったが、今年度は春休み中に4回目を計画している。 ○人権を学ぶ会事業 今年度は63自治会中62自治会で実施できた。参加者も901人で昨年度より増えている。 ○ほくほクラブ事業 今年度から実施方法を変更し、人権学習に加えて探求的な学びを追加した。それぞれの小中学校から参加者があり、昨年より参加者が増加した。				

松尾館長	◆中央公民館事業について ○中央公民館管理事業 全館のLED化や外壁の修繕や手すりの設置などを行った。 ○中央公民館大栄分館建替事業 大栄分館の解体に伴い、事務所を図書館のギャラリーゆら里に移動した。令和8年度4月から建設工事が始まる。 ○展示・鑑賞・発表経費事業 北栄町美術展を11月3～15日に開催。出展数はやや減っている。北栄町美術展実行委員会が日本海新聞のふるさと大賞の地域貢献賞に選ばれて表彰された。 ○ほくえい未来ラボ事業 今年度のテーマは「新たな公民館の活用」とし、21名の参加者で活動を行った。令和9年度にオープンする大栄分館の活用にかاشしていきたい。
福田主幹	◆図書館事業について ○図書館運営事業 ギャラリーゆら里では、鳥取中央育英高等学校魅力化プロジェクト「花活」で生け花を行い、中学生の参加もあった。その他、地域おこし協力隊の紹介やステンシルワークショップも行い、親子連れなどで賑わった。 ○図書館魅力化事業 夢の図書館プロジェクトではブックリサイクルやゆる～い読書会などメンバーが考えたことを実施することができた。 ○絵本でつながるまちづくり事業 児童文学作家の村上しいこさんの講演会とワークショップを行い、幅広い世代の方が参加された楽しい取り組みができた。 マタニティ・ファーストブックでは、7割の対象者に対して届けることができ、昨年度より割合が増えている。
	【質問・意見など】
別本委員	○社会教育関係団体補助金について、補助金のあり方を見直したということだったのですが、どのように見直したのか。 ○婦人会の会員は何人か。どんな活動をしているのか。
渡辺課長	以前は、PTAも補助たいしょうにしていたが、少額であり、団体の決算を見ると、十分その団体の予算で実施できないようであったため、制度をなくしたわけではないが、令和7年度は支給しないことにした。
安田委員	婦人会の会員は21名。人数は少ないが、社会教育に関する活動を行っている。研修などしながら、自分たちがどういった活動ができるのか研究しながら実践している。
別本委員	大誠体育館の解体工事で補償されたとのことだったが、これは業者の注意不足で起こったのか、または明らかに避けられない事象だったのか。
福庭室長	1件は軒天が少し壊れてしまい、もう1件は玄関のタイルに隙間が出来てしまった。業者の方もかなり気をつかわれて、振動が出ないように大きな音が出ないように配慮されていたが起こってしまい、工事によるものだと認定して補償した。
別本委員	○ほくほクラブについて、すべての学校の生徒が参加して開催出来たのはすばらしい。引き続き頑張してほしい。 ○人権教育職員研修は、人数からすべての職員が参加している訳ではないと思うが、非常に重要な研修だと思うので、全職員対象の職員研修としてはどうか。
川本室長	次回は、職員研修の担当ある総務課と協力して行う。
安田委員	歴史民俗資料館の入館者が昨年より増えているが、これはインバウンドの影響か。
福庭室長	インバウンドはほとんど関係ないです。

安田委員	ほくほくプラザの子ども食堂を4回開催されているとありますが、長期休業中に行っているのか。また、食事が大事なこと、食材が大事なこと、食べ物を無駄にしないことなどをその場で指導されていると思うが、婦人会では食品ロスをなくそう、ゴミを減らそうといったことを啓発活動しているので、ほくほく食堂の際に、食事を提供される前などにそういった啓発活動をさせてもらうことは可能か。
川本室長 吉田館長	ほくほく食堂は、長期休業中に行っている。相談いただけたら、お時間を取らせてもらうことは可能。
	(2)その他
松尾館長	中国・四国地区社会教育研究大会山口大会で松尾館長がほくらボについて発表を行った。その内容を大会の報告書をもとに、概要を説明。
6 協議事項	(1)令和8年度の事業計画(案)について
福庭室長	◆文化・スポーツ推進室事業について ○北栄みらい伝承館展示事業 来年度は6本の企画展を予定。それとは別に、北栄町に貢献いただいた河本賢治さんの追悼展を実施する。また、来年度の目玉としては、生誕130周年を迎える、北栄町出身の画家、前田寛治さんの展示を行う。この展示では、今まで公開がなかったものも展示する。 ○町内遺跡発掘調査事業 来年度は、六尾反射炉跡の調査区画の拡大と、引き続き北尾交差点付近の試掘調査を行う。 ○すいか・ながいも健康マラソン事業 今年度は6月14日に開催する。定員4,000人で3月1日に募集をスタートしたが、3日の午前中には定員に達してしまった。今回は、申し込みの郵便振替をなくし、インターネットと窓口のみで受け付けた。また、青山剛昌ふるさと館の建替で、で出合いの広場が使えなくなった分、北条側に駐車場を設けてシャトルバスを多く運行する予定。
荒川事務局長	◆北条スポーツクラブについて ○北条地区のナイター野球リーグのチームが減ってしまったため、北条地区をなくし、引き続き参加したいチームは大栄地区ナイター野球リーグに参加する。 ○7月に東伯郡民スポーツレクリエーション祭が、北栄町を主会場に行われる。 ○北栄町駅伝競走大会は、今年度は横断コースにしたが、来年度はまたお台場公園周回コースに戻す。 ○大栄ふれあい会館で導入しているスマートロックを北条小学校体育館でも導入する。
川本室長	◆人権教育推進室事業について ○犯罪被害者支援 町で経済支援として、被害者の方に見舞金という形で助成していたが、令和8年度からは県下の市町村が負担金を支払うことで、連携して統一的に支援する仕組みに変更となる。 ○ほくほクラブ事業 引き続き、小中学校の児童・生徒の皆さんにご参加いただき、活動を継続していく。 ○人権を学ぶ会 全自治会での開催を目標に取り組んでいく。
松尾館長	◆中央公民館事業について ○公民館まつり作品展、ふれあい芸能発表会 日程を以下のとおり修正 ・作品展 6月27日(土)～7月5日(日) ・芸能発表会 7月5日(日) ○廃止、休止事業について ・成果還元事業(廃止) ・ほくらボ事業(休止) →新たに、住民の方にご意見、ご提案をいただきたい課題がでてきた際に行う ○大栄分館建替事業 解体工事が終わり、令和8年度は建築工事にはいる。

大栄分館 永田さん	◆中央公民館大栄分館について ○子どもミュージカル 練習場所を北条支所がある健康福祉センターで行う。 ○ロビー展示 大栄農村環境改善センターのロビーで行う。現在も絵画教室の展示を行っている。 ○子どもほくえい塾 大栄農村環境改善センターなどを借りて引き続き実施する。また、船上山少年自然の家なども活用していく。令和8年度も子ども公民館まつりは実施出来ないが、新しい公民館が出来れば引き続き行っていきたい方針。
福田主幹	◆図書館事業について ○図書館のLED化 閲覧室と事務室はすでにLED化を行っているので、令和8年度は全館で行う。 ○e-sportsによる地域活性化を図る、コワーキングスペースの活用 本を借りる場所だけではなく、新しい居場所となる事業を進めていく。 ○図書館魅力化事業の廃止 事業は廃止するが、夢の図書館プロジェクトについては、町民の方が主体となってイベント等を引き続き開催する。
	【質問・意見など】
別本委員	中学校の部活動について、国が社会体育化を進めていると思うが、先日南部町の取り組みが新聞に掲載されており、北栄町の取り組み状況を教えてほしい。
福庭室長	陸上、バスケット、野球などはクラブチームがすでに立ち上がっている。ただ、全体的に移行しているわけではなく、受け皿の問題や学校側の課題もあり検討している状況。 先日、やっと鳥取県の方針が出てきたところなので、まだ町の方針は決まっていないが、南部町の取り組みの話も聞きたいと思っているところ。
三村委員長	以前は地域のクラブチームが入り込めなかったのでもう動き出したというイメージ。子どもたちが楽しくなるような環境をつくってあげてほしい。
笠見教育長	子どもたちの多様なスポーツや文化活動の場を確保していことを考えていきたい。どういうふうに進むかは分からないが、しっかり準備できるよう、令和8年度も進めていきたいと思っている。
清水委員	ほくほく食堂は子ども食堂ではないと聞いているが、ほくほく食堂はどういった趣旨で開催しているのか。
吉田館長	長期休業中にほくほく食堂を開催しているが、長期休業中は保護者の方はいつも通りの仕事があり、一人になっている子どももいるので、補食だったり、食堂の時にしか来ない子もいるので、一人にさせない、みんながいることを知ってもらおうという趣旨で行っている。
笠見教育長	子ども食堂の概念が最初に入ってきたときに、貧困などで十分に栄養をとれない子どもたちに食事を提供するというイメージがあった。しかし最近はいろいろな活動が広がる中で、子ども食堂も非常に幅広く捉えられるようになっており、今現在はほくほく食堂も子ども食堂の1つの形態だと思っている。
7 北栄町内でのコミュニティ・スクールの活動について	
荒木推進員 菱井推進員	町内でのコミュニティ・スクールの活動について、パワーポイントを用いて説明 学校運営協議会は、北栄町の子どもたちがより良く楽しくなっていくために、学校と地域のメンバーが何が出来なのか、何をすればいいのか、役割分担をしながら学校や子どもの応援をしていく取り組み。
三村委員長	こういった活動に入っただけだと、こういったことが出来るのではないかななどのコミュニケーションの場にもなる。ちょっと顔を出す、生徒の顔を見に来たというだけでもいいので誘い合って気軽に参加していただきたい。

笠見教育長	この会で内容を報告してもらったのは、社会教育を盛り上げたいという思いがある。盛り上げる方法として、それぞれの活動を知ってつながって化学反応が起こればという願いで、今回はダイレクトに社会教育であるコミュニティ・スクールの活動について報告していただいた。直接活動に参加していただくだけでなく、ご自身のやっていることでこういった活動も出来るということがあればいかしていったほしい。今後もこの会だけではなく、社会教育関係ではそれぞれの活動を知り合う、つながり合う機会をもっていきたい。
8 その他	
安田委員	小中学生が春休みになり、特に小学校低学年が安全に過ごしてほしいという願いで地域で見守るのが、私たちの社会教育活動だと思っている。下手なことを注意すると、子どもたちにそれは違うと言われてしまうので、子どもや孫のいない家庭でも、地域で子どもたちを見守るのは同じだと思うので、学校で示しているルールを地域の人にも分かるようにしてほしい。
事務局	検討します。
9 閉会	
委員長	以上で閉会
閉会時刻	午後3時27分
	上記のとおり相違ございません。
委員長	三村 章雄
議事録署名委員	大口 吉雄